

## 消防学校における初任教育学生の「校長査閲」の概要

校長査閲とは、令和3年4月に県内各消防本部で採用された新人消防士（令和3年度は61名、うち女性2名）が、約6ヶ月間に渡って消防学校で学んだ成果を、各所属消防本部の職員や家族に披露するために行う消火・救急・救助の総合的な訓練です。当日は、消防車や救急車など、複数の消防車両を使用するほか、放水による消火訓練も行います。

### 1. 訓練礼式

通常点検	隊員の人員、姿勢、服装及び物品等を一定の時期に検査を行い、これを整備し品位を保つことを目的とした訓練です。
部隊訓練	団体行進等により、隊員に諸制式に習熟させるとともに、その部隊行動を確実軽快にし、厳正な規律を身に付けさせることを目的とした訓練です。



通常点検



部隊訓練

### 2. 機械器具取扱訓練

切断器具取扱訓練	火災や災害現場等において、鉄や木材等の障害の排除や救助活動に使用する、エンジンカッター及びチェーンソーを使った切断訓練です。
三連梯子操法訓練	火災や救助等のあらゆる消防活動で使用される三連梯子の搬送、伸ばす、かける、登るなどの基本操作を習得することを目的とした訓練を展示します。 ※三連梯子の重さ約35kg、長さ約8.7m
応急梯子救出訓練	火災現場などで2階に逃げ遅れた要救助者がいる場合などで、三連梯子とロープのみを使用して迅速に要救助者を地上に救出する訓練を展示します。



切断器具取扱訓練（エンジンカッター）



三連梯子操法訓練



応急梯子救出訓練

### 3. 救急訓練（トリアージ訓練、心肺蘇生法）

トリアージ訓練	災害発生時などに多数の傷病者が同時に発生した場合、傷病者の緊急度や重症度に応じて適切な処置や搬送を行うために傷病者の治療優先順位を決定するための訓練です。
心肺蘇生法	心筋梗塞を想定し、呼吸が止まり、心臓も動いていない傷病者の生命を維持するための胸骨圧迫（心臓マッサージ）を主な内容とした訓練です。



### 4. 救助訓練（ロープブリッジ渡過訓練等）

ロープブリッジ渡過訓練は、離れた場所にいる要救助者を救助するためなどの訓練で、訓練塔2塔の間に水平に張られた渡過ロープ20mを渡過する基本的な救助訓練です。そのほか、2人が協力



### 5. 総合訓練（交通救助想定・建物火災想定）

交通事故での要救助者救出、観察・処置、また、建物火災を想定したホース延長、延焼防止、屋内進入、要救助者の救助・搬送など、初任科で身に着けた技術・技能を総合的に活用して実施する訓練

